市政報告 NOW

令和2年7月 号外

和泉市議会議員

坂本（さかもと） 健治（けんじ）

政治理念 かけた情は水に流し受けた恩は石に刻む

行政の無駄を指摘し、1,500万円削減！

令和２年第二回定例会 ６月25日　一般質問「特別定額給付金について」

質問内容

特別定額給付金について

今回、新型コロナウイルス感染症の緊急経済支援として、国民一人あたり一律10万円を給付する特別定額給付金について質問しました。

（この質問文は要約しています。本会議においては「約55分」質疑しています。）

［質問］

国の施策で、新型コロナウイルス感染症の緊急経済支援として、特別定額給付金事業の実施が決まり、１人につき10万円が支給される事になりました。まず初めに、この特別定額給付金については、今年４月20日に「新型コロナウイルス感染症経済対策」の一つとして政府において閣議決定されたもので、感染拡大防止に留意しつつ、簡素な仕組みで迅速かつ的確に家庭への支援を行うよう総務省に「特別定額給付金実施本部」を設置し実施されてきました。

しかし、現時点においても全国では国民の約５割程度しか給付されておらず、その事務を行う自治体においては、オンラインでの申請に不備が相次ぎ、オンライン申請を取りやめる自治体も現れ、また、二重給付のミスが発生するなど、総務省の「簡素」「迅速」「的確」とは言えない状況になっているのではないのか、と私は思っています。

全国的にはこのような状況でありますが、現在の和泉市における取り組み状況を確認させていただきながら、評価できる点、課題が残る点などについて、この一般質問を通して指摘しました。

市民に対しての給付準備段階での不手際があり、問題点が多くありました。例えば、当初のスケジュールでは、和泉市は給付予定日が近隣自治体と比べて６月下旬からの給付金の振込予定でした。しかし、私を含む多くの議員の指摘や職員で構成された応援チームのおかげで、予定を早めることができました。

そもそも委託業者の取り組みにも問題があり、また委託業者に対して7,000万円を超える高い契約金額に、おおいに疑問であります。事業者まかせのどんぶり勘定による契約金額ではないのかと私は思い、契約書や仕様書なども調査して分かったことが、申請書発送用封筒について言うと、仕様書では「透過防止」と条件を付しているのにもかかわらず現物を確認しますと、透過防止でなく普通封筒であることがわかりました。また、見積書の印刷費も申請書類が、A4サイズの白黒の物が一枚110円で８万枚、と高額すぎる事や、スタッフ等の単価が一人25,000円で、責任者にいたっては38,000円でした。これも高いように感じます。また、多くの応援職員によって対応した業務分も含めて調整がいるなど、今回、調査すればするほど、問題点が見えてきました。

市職員の不眠不休の努力により、６月22日時点で93%の振込が完了しましたが、約7,000万円で委託した業者との契約内容では、業者の社員は業務時間が９時から17時までで土日は休日となっていて、市役所の応援の職員さんは休日もなく不眠不休で業務していたことが判り、あまりにもこの契約内容に不備が多いことが私の調査で判明しました。この契約不備分を計算すると、約1,500万円の減額が出来ると思いますが、市の見解はいかがでしょうか。

行政理事者［回答］

（坂本）議員のご指摘のとおり、一括しての業務委託でありながら、事務の流れ、仕組み等を本市が構築し、作業も行いました。内容と見積額の精査等、問題があったと反省しています。仕様書との相違点を精査し、概ね1,000万円を越える減額の協議をする予定でありますが、議員のご指摘を踏まえ1,500万円の減額を求めます。

要　望

今回指摘した封筒の不備や人件費の問題等、緊急事態宣言中の迅速な対応を行わなければならなかった状況は理解できますが、そのような中でも、行政は事業に対し適正な予算執行を行う事が、財政の無駄を無くす事に繋がると思っているので、今回の指摘を踏まえ、今後このような問題が起こらないよう努めていただくよう今回の質問で指摘しました。

詳しくは、和泉市議会ホームページの議会中継、本議会でキーワード欄に坂本健治で検索してください。

今までの私の取り組み

1．消防団のヘルメットの保障期限切れを指摘、２回に分けて新しいヘルメットを支給

2．和泉市の小中学校、全児童生徒向けの１人１台のPC端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備するため、国の補助金をフルに活用して今年度中の実施に向けて、経費が盛り込まれました。

3．今後の市営住宅の建て替えに伴う莫大な費用を削減するため、まず、市営住宅の丸笠団地建替えの計画を無駄な公共事業として、議会で指摘し計画変更となった！削減効果額一般会計で**約95億円**‼ 計画2,210戸を1,189戸に縮小を実現。

　和泉市は、元々人口のわりに、大阪府下でも上位に挙がるほど、市営住宅の戸数が多く、そして多くの市営住宅が建て替えの時期に来ている。

① 建物の老朽化が進み、建て替え計画があり、私は丸笠団地の、立地が丘の上にあり、居住者の高齢者率が高く、公共交通の不便さや、費応対効果が悪く、多くの建設費がかかる事を指摘。

② 建て替えるなら今後は、ＪＲ阪和線駅近くに集約するべきと提案。

③ 高齢者や若者が住んで貰えるような、立地条件や、環境を考慮し、市営住宅を集約することでコストの軽減、浮いたお金を街の再開発費に充て、住みやすく安心安全な街づくりを進める事を提案。

4．小中一貫校の推進。

　子供たち一人ひとりに個別指導や最適化された創造性を育む教育ICT環境の実現の為や、老朽化が進む公立学校の近代化や特色のある地域に根差す学校づくりの為にも小中一貫校の推進が必要と指摘。

5．小中学校の普通教室へのエアコンの早期整備の実施を議会で要望。実現した。

6．青色防犯パトロール活動への支援金について、議会で指摘し一台につき３年間で装備費２万円、活動費毎年１万円が実現した。

7．南部リージョンセンター10周年を迎えるにあたり、大規模なリニューアルを提案

　内容は玄関前にある大型車の駐車場の移動、ここは元々バスの転回場の確保とバス停があるために大型車の駐車場になっていたが、路線バスは廃止になり、必要性が薄れたことで、大型車の駐車場を敷地の端に移設が決定。

　また、道の駅の販売場所の配置が悪く、使い勝手が良くなかったので契約見直しや販売所の場所の改善を含め10周年を迎えるタイミングでの大規模修繕工事を提案したが、この時は予算がなく、引きつづき根気よく交渉の結果、再来年の実現が決定した。

8．災害時の避難場所の体育館のクーラー設置を提案要望

　予算は国の緊急防災・減債事業債の活用を提案し和泉市の少ない予算で実施できると指摘しほぼ実現の見通しがついた。

9．その他多くの要望や提案をこの４年間行ってきた。

提案に大切な事は根拠と財源を示し、説明、調整することで実現出来ると考えています。

石破氏来たる！

2020年８月９日

13：30　和泉中央駅前ロータリー　街頭演説
14：30　南部リージョンセンター 多目的広場 講演会

参加無料（どなた様でも参加できます。）

※コロナ対策は万全に実施しますが、状況により中止する場合があります。

Facebook　Instagram

和泉市議会議員 **坂本 健治**
Tel 0725-92-2213　mail:kenji1017@leto.eonet.ne.jp
Fax 0725-92-2214　http://www.eonet.ne.jp/~sakamotokenji/